

# Rotary 関ロータークラブ

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

RI会長：ホルガー・クナーク

関ロータークラブ会長テーマ

志～奉仕の理想を高さ志で実践しよう

55代会長：木村 聡

「関の刃物」は700余年の歴史を誇り、  
「折れず、曲がらず、良く切れる」関鍛冶の  
伝統を受け継いでいます。

会長 木村 聡  
副会長 加藤 照彦  
幹事 酒向 徳享

## D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



本日のプログラム 第 2588 例会 2020 年 12 月 6 日 (日)

「第 1 回関ロータークラブ旗争奪関市中学生野球大会閉会式」

「特別記念講演 講師：きくいけ整形外科院長 喜久生明男様」



### 前例会の記録・第 2587 回 12 月 1 日(火)12:30

「行動力～その一歩が希望に満ちた未来を創る～」

関青年会議所 理事長 山中孝浩様

#### ◆開会点鐘

#### ◆ビジター紹介

関青年会議所 理事長 山中孝浩様

〃 副理事長 田中雄貴様

〃 財務担当理事 加藤大輝様

#### ◆会長挨拶 木村聡



本日のお客様は（一社）関青年  
会議所理事長の山中孝浩様です。  
テーマは「行動力～その一歩が希  
望に満ちた未来を創る～」です。  
私が語るのも何ですが、JC には

「トレーニング・サービス・フレンドシップ」とい  
う三信条があり、その並び順にも意味があります。  
これを敢えてロータリーに置き換えると「サービ  
ス・フレンドシップ・トレーニング」或いは「サー  
ビス・トレーニング・フレンドシップ」のどちらに  
なるかが微妙なところでしょうか？いずれにせよ「サー  
ビス」が一番に来るのが特徴だと思います。山中  
理事長におかれましては、JC で十分にトレーニング  
を積んで頂いた有為な人材を、サービスの実践の場  
としてロータークラブにどんどん送り込んで頂け  
るようお願い申し上げます。差し当たって本日は、  
若いエネルギーのお裾分けをお願い致します。

さて先日東京女子医科大が、2021 年度の入学生か  
ら 6 年間で 1,200 万円の授業料の値上げをするとの  
発表がされました。その結果授業料の総額が 4621  
万 4000 円となり、私立医大の中でもトップクラス  
の高額な授業料になるそうです。本校はコロナ禍に

よる収入減を理由に、夏期ボーナスを支給しない方  
針を打ち出し、多数の看護師が退職の意向を示した  
ことでニュースでも話題になりました。マスコミの論  
調もあり、一旦は「ひどい話だな。」と思えたので  
すが、改めて考えてみると資本主義の原理からすれ  
ば全く理解できない話でもなく、「コロナ禍で収入  
が減った → 支出を減らす（ボーナスは業績に左  
右される性格のもの） → でも看護師は納得でき  
ないことを退職という形で意思表示 → 対応を変  
更」というプロセスなのであり、一企業としては十  
分あり得る話です。しかしコロナ禍でそれに対応で  
きる病院のキャパが落ちることは国として困るわけ  
で、これは政策の問題と捉えた方が良いでしょう。  
授業料の値上げに話を戻しますと、大学側は経営状  
況との関連を否定しているようですが、この場合で  
すと「コロナ禍で収入が減った → 収入を増やす  
（授業料の値上げ）(?) → でも受験生は納得  
できないことを他の大学を志願するという形で意思  
表示(?) → 対応を検討(?)」というプロセ  
スになります。例えば某かの理由でそれでは受験生  
にとってあまりにまずいという事であれば、やはり  
政策が必要になるのでしょうか。近年様々に湧き起  
る社会問題を始めとし、何かにつけ優れた政策の実  
施を期待する必要性が高まっているのですが、実際  
にはコロナ対策などにも見られるように、稚拙な政  
策の実施を目の当たりにすることが多く、国は一体  
何をやっているんだとの思いが芽生えます。一方で  
官僚が大変疲弊しており、離職者が多く、なり手も  
少なくなっているという報道が多くさされるようにな  
っています。花形の職種であったはずなのに一体ど  
ういう事でしょう。報道が正しいとするならば、や

はり政治家の問題が大と言わざるを得なくなります。国家の競争力にもかかわる問題なだけに、危惧せざるを得ません。

◎出席委員会 委員 古田貴巳

会員 50 名中 出席 19 名 出席率 38.00%

◎ニコボックス委員会 委員 長尾一郎

会長・副会長・幹事・・・関青年会議所 理事長 山中孝浩様ようこそ関ロータリークラブへ。演題には、行動力、希望、未来との言葉があり、若さに満ちた輝いた話が聞けるのではないかと期待しております。時間一杯よろしく申し上げます。

堀部哲夫、長尾一郎、加藤浩二、古田貴巳、林昇、西田泰幸会員の皆さん・・・関青年会議所 山中理事長、田中副理事長、加藤財務担当理事、関ロータリークラブへお越しいただきありがとうございます。理事長職も残すところあと1ヵ月となりました。本日は、1年の集大成とすべく卓話大変楽しみにしております。また、J C卒業後は関R Cへご入会お待ちしております。

◆「行動力～その一歩が希望に満ちた未来を創る～」

関青年会議所 理事長 山中孝浩様



皆様、こんにちは。本日は、このような卓話 お話をさせていただく機会をいただきました事、まずもって皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。私は先ほど、紹介に預かり

ました一般社団法人関青年会議所2020年度の理事長の職を預かっております山中孝浩と申します。どうぞ、よろしくお願い致します。私ども、関青年会議所の活動任期は1月1日から12月31日であります。準備期間も含めて約1年半の任期であります。12月を迎え、当会議所の例会や総会をもって本年度が閉じ来年の組織にバトンを受け渡し流れとなっておりますが毎年12月に理事長は、こちらの席にお呼びいただき本年度培ったスピーチ力を披露する場であり最後の理事長としての公務と先輩から聞いております。過去の理事長の方たちは、例会、その他、多数の箇所で、このように面と向かって人の前で挨拶やお話をする機会がたくさんありましたが、本年度は皆様もご存じの通り、新型コロナウイルスの影響を受け、関青年会議所では3月から会議は全てオンラインを用いての運営となっております。その他の例会等々も集まっての開催が難しい時期もありオンラインをフルに活用させていただきました。何をおつたえしたいかと申し上げますと、本日のように多くの人の前でお話をさせていただく

ということに、まだまだ不慣れでありますので何卒よろしく申し上げます。その反面、オンラインでのお話でしたら恐らく誰よりも回数をこなしておりますので、私の本年度培ったオンラインでの実力が発揮をできたかもしれません。そんなとても緊張をしている私ですがお時間までお付き合いいただければ幸いです。

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。昭和58年12月に生まれ今月で37歳を迎えます。小中と関市内の学校に通い高校、大学と市外で学び、就職を機に生まれ育った関市に戻ってきました。趣味は、一般的にお出するプロフィールには旅行とゴルフであります。プロフィールに書かない趣味としては、妄想することや、世間一般的に言われる陰謀論を調べたり聞いたりすることです。私の日課として寝る前にYouTubeで夜な夜な、そのような情報を得て気づいたら、こんな時間と焦り寝るという事を繰り返しております。仕事の方は関市千疋にて株式会社巧報社にて仕事をしております。業務内容としては、主に印刷業全般であり小さいものから大きなもので印刷しております。その他、キャラクター製作やそのキャラクターを用いてのPR活動、動画やアニメーションなど製作しております。私が関青年会議所と出会ったのは私が25歳の時でした。就職を機に関市に戻り社会人として歩み始めたころ、皆さんの中でご存じの方もお見えになるかもしれませんが、とうかい号と呼ばれる青年会議所が運営をする研修船に乗り、そこで青年会議所メンバーと関青年会議所と出会いました。この、出会いこそが私の人生を豊かなものになり、今日こうして皆様の前でお話をする機会もいただいております。存知あげない方もお見えになるかもしれませんので簡単に、とうかい号についてご説明をさせていただきます。とうかい号とは、46年続き1週間近くかけて客船の中で研修し自己研鑽に繋げ、また寄港地が海外です。国際的な視野を育み、現地の方たちと交流をする内容となっております。研修を受ける一般乗船の方が450名程、運営を行う青年会議所メンバーが600名程で合わせて1,000名程度で運営をしている事業です。本年度と来年に関しては、新型コロナウイルスの影響を受け中止となっております。そんな、とうかい号に乗船し、私はそこで、目的に向け、ひたむきに活動をする姿、自分の事よりも人の為に動くことが出来る姿を目の当たりにし、私はいつからかJCメンバーのようになりたい。そう思うようになり翌年の26歳に関青年会議所に入会しました。入会以降は、まだ何も分からない私でした



ので当初は先輩に言われる事を聞いて、とにかく青年会議所が主催する事業に参加をさせていただきました。そんな事を3年ほど、続けていると関青年会議所を構成する理事メンバーに選んでいただき、本日まで色々な役職を受けさせていただきました本年度、理事長の役を預かっております。今、振り返ってみると正直言いまして大変な事も沢山ありました。苦労話をすると、それこそ1時間では足りない程ですが、私が本日まで頑張ってきたのは、やはり青年会議所の活動を通じて、そこに自身の成長に繋がること、人生の財産でもある沢山の方たちとの出会いがあったからこそだと思います。そこで、本日の卓話についてですが青年会議所で学んだこと、青年会議所での出会いについて、お話をさせていただければと思います。青年会議所で学んだことは大きく3つあります。

①本年度のスローガンでもある行動力の大切さ  
本年度、関青年会議所ではスローガンを行動力とさせていただきます。行動力とは自らの意思で積極的に行動をする能力のことを言いますが私は、青年会議所の活動を通じ、この行動力がいかに大切で、どんなに重要かを学びました。青年会議所では日々活動を行っている、本当に多くの学びの機会があります。新しい知識も得ることができます。しかしながら、どんなに知識を得ても、どんなに勉強をしても、学びを得ても結局、最初の一步を踏み出さなければ何も始まりません。学んだこと活かすも、自ら成長する機会を得る為にも、最初の一步を踏み出した結果、全ては始まります。よく、やらない後悔よりもやって後悔をした方が良いと言われるますが、頭で考えているよりも、まずは失敗してでも行動を起こす事が私は大切である事を学びました。

## ②覚悟を決めるということ

2つ目に覚悟を決めるということです。青年会議所では単年度制であり毎年、やるものが違います。また、担う役割、役職も違います。この1年というのは長いようで、実際は短い1年であると思いません。青年会議所での覚悟を決めるということは、その役割や役職を担う、受ける覚悟の事です。どんなに最初は不安であっても覚悟を決めると不思議に自然と決めたことに向かって、びっくりするようなカタチで現実が動き始めると私は思います。覚悟を決める前、決めた直後は、不安や心配になり勇気がいることもあります。ですが、どんなに辛い思いをしてでも、最後までやり抜くこと。歯を食いしばってでも、やり続けるから自身の役に立ち、成長でき次のステージに進むことが出来ると私は思います。そ

して勇気と覚悟をもって行動することで自身には無い新しいステージに踏み出していく事が出来ます。

## ③おかげさまの心で活動をするということ

3つ目が、おかげさまの心で活動をするということです。これは感謝の心を持つということにも似ています。私は青年会議所の活動を行う中で、たくさんの方に支えていただき、本日もこうして活動ができています。一人では何も出来なくても、家族、会社、関青年会議所のメンバー、誰か一人でもサポートしていただければ、こうして活動を続けることは難しいと思います。私は、今もこうして本当に多くの方に支えられながら活動ができています。だからこそ、おかげさまの心で感謝の心を持ち全ての人と接し、活動をする事の大切さを学びました。

次に青年会議所での出会いについてお話しさせていただきます。恐らく、どの組織、団体でも属していれば色々な方と出会います。この出会いに関しては、青年会議所に限ったことではありませんが、私は青年会議所活動を行う上で、本当に多くの方と出会い、また、目標となるそんな方達とも出会うことが出来ました。青年会議所の活動単位は、関青年会議所のように地域で活動する単位。岐阜県内の青年会議所が集まって行う、岐阜県の枠組み。東海地区（愛知、三重、静岡、岐阜）が集まって行う東海の枠組み。日本全国から集まり全国で活動をする日本、そして世界と大きな団体であります。そちらへ出向という形で赴き、活動をするわけではありますが、東海地区や日本となると同世代で、かなり業績をあげている方や、誰もが知っている企業の方、リーダーシップを持ち合わせた方など、私は、そこで沢山の方と出会い、活動をする中で、良い刺激を受け、日々、こうなりたい。こんな事をやりたいなど、良い刺激を受けています。よく、人は人によって磨かれるなど。やはりそういう刺激を受け続けることが青年会議所に所属し、40歳までのこの貴重な時期に大切かと思えます。最後になりますが、本日、つたない話でしたが最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

## ◆幹事報告

◎会員増強缶バッジ装着のお願い

◎12月のロータリーレート 1ドル:105円

◎例会終了後「理事、役員会」開催

次例会のご案内 12月12日(土)

「劇団四季ミュージカル ライオンキング鑑賞」

※12/15の変更